

患者さんにわかりやすく、丁寧に

柏崎総合医療センターで初診患者さんの問診や身体診察、救急患者さんへの対応実習をさせていただきました。日曜日の休日急患センターでは、日本医科大学の救急の先生と外傷、高血圧、頭痛といった患者さんを診察しました。

休日診療では限られた資源の中で重症度に応じ、入院か、帰宅か、帰宅であればどのようなことに気を付けるか、次回受診のタイミングはいつかを患者さんに丁寧に説明する必要を学びました。具体的には頭部外傷で意識清明の患者さんには頭痛・嘔気や麻痺・けいれんが生じたとき、ろれつが回らなくなったり、日中にうとうとしたり、ふらついたり、瞳孔の大きさが左右で変わってきたなどの症状が見られたら、すぐに救急に受診するように伝えていました。

患者さんの立場に立ち、受診後の大事な点をわかりやすく丁寧に伝えることで、患者さんの不安を減らし、またすぐに来院すべき状況がわかるようにする点が大変勉強になりました。

日中診療も指導の先生が忙しいところ、丁寧にわかりやすく指導していただき、これから医師になるにあたり、有意義な知識と経験を手に入れられた最高の実習になりました。

柏崎総合医療センターの先生、事務の方々、日本医科大学の新井先生、本当にありがとうございました。